



博報堂九州支社を母体とする「九州しあわせ共創ラボ」のレポート第二弾

九州のしあわせは大きく分けて7タイプ

今回は、九州しあわせ共創ラボが実施した調査の分析レポート第二弾を発表します。

前回の調査レポートでは、“世界一住みやすい都市”^{*1}とされている「東京」と同じかそれ以上に九州の人たちは「しあわせ」を感じているとお伝えしました。今回は九州の人たちが感じている「しあわせ」がどのようなものなのか、その内容をご紹介します。

今回8月に実施した調査によると、九州の人たちの42%において、普段の生活におけるしあわせ点数^{*2}が70点を越えることが分かりました。今回、このしあわせ点数が70点を越える746人を対象に、どのような「しあわせの鍵」があるかを探るためにクラスター分析^{*3}を実施しました。分析の結果見えてきたのは、7つの異なるタイプのしあわせでした。

*1 MONOCLE誌2016年発表

*2 質問“あなたの「最近のしあわせ度」を50点を基準に100点満点でいうと、何点ぐらいですか”に対する回答平均値

*3 九州に住んでいる18歳から69歳の一般生活者男女。しあわせの点数が70点以上の746人を対象としたクラスター分析。「しあわせを感じる瞬間」と「しあわせに暮らすために必要だと思うもの」の回答を元に因子分析を実施。10タイプの因子から7つのしあわせクラスターを作成した。

九州の7つのしあわせタイプ

1 経験のシェアで他人の役に立つ 「分かち合うしあわせさん」



しあわせ点数: 79.6点

構成比: 18.7%

自分の経験や知識で、親しい人や世の中の役に立つことがしあわせだと感じる、社会貢献意識が高めの人たち

生活は安定しており、家族と一緒にの時間や趣味の時間がしあわせ。仕事に不満はないが、今ではやる意義をあまり感じられていない。それよりも、住んでいる好きな街をよりよくしていくための、役に立ちたいと考えている。

■意識・行動特性

[しあわせを感じる時]

- ・「親しい人のために役に立っていると実感できたとき」: +42.1pt (M)
- ・「世の中のために役だっていると実感できたとき」: +22.8pt (M)
- ・「他人と気持ちを共有できたとき」: +29.2pt (M)

※点数は九州の生活者全体とのスコア差

(M)=マルチアンサー形式

(S)= 5段階シングルアンサー形式

2

-仕事を通じてしあわせを実感-

「はたらくしあわせさん」



しあわせ点数:80.4点

構成比:18.7%

仕事がうまくいっている時に、最もしあわせを感じる人たち

仕事をするのがしあわせの実感に直結している。

もっとしあわせになるために必要なのは、スキル、技術、経済力とよい仕事。

■意識・行動特性

[しあわせを感じる時]

・「仕事がうまくいったとき」:

+17.7pt (M)

[意識と行動]

・「しあわせのために必要なのはよい仕事」:

+24.1pt (M)

・「自分で考えるのが得意」:

+8.7pt (S)

3

-海と家族と犬を愛する-

「海辺のしあわせさん」



しあわせ点数:80.9点

構成比:5.8%

自然の中で、自分の家族や犬と一緒に、趣味の時間を過ごしている時が一番しあわせな人たち

家族旅行や趣味の時間が何よりも大切。性格は楽観的。

人と比べることはせず、お金では得られないしあわせがあると感じている。今の住環境、地域をととても気に入っており、地域をさらによくする活動にも積極的に参加している。

■意識・行動特性

[しあわせを感じる時]

・「海にいるとき」:

+89.4pt (M)

・「旅行にでかけたとき」:

+30.9pt (M)

[意識と行動]

・「週末は家族と一緒に行動することが多い」:

+36.0pt (M)

4

-目の前の確かなしあわせを積み上げる-

「家族のしあわせさん」



しあわせ点数:80.9点

構成比:27.2%

何事にも気負わない性格で、一番身近にいる家族から、しあわせを得ている人たち

しあわせを感じるのは、旅行や外食など、家族と一緒に過ごせる場面。生活の多様なシーンでしあわせを感じるわけではなく、家族と共に過ごす、身近でリアルなしあわせを生活の中で積み上げている。家族以外の人、仕事、社会とは距離を取りがち。

■意識・行動特性

[しあわせを感じる時]

・「家族と一緒にいるとき」:

+19.5pt (M)

・「美味しい食事を食べているとき」:

+10.5pt (M)

[しあわせに必要なもの]

・「家族と過ごす時間」:

+25.2pt (M)

5

-衣食買い物でしあわせを身にまとう-

「お出かけのしあわせさん」



しあわせ点数:81.9点

構成比:9.7%

街に出かけるのが大好きな人たち

好きな服を着て、ショッピングを楽しみ、美味しいご飯を食べる時にしあわせを実感する。そのためのモノにはお金を使う。一方で、仕事でしあわせを感じることはあまりない。人づきあいが得意で、家族ともよい関係を築いている。毎日の生活のいろんな場面で、しあわせを感じている。

■意識・行動特性

[しあわせを感じるとき]

- ・「ショッピングを楽しんでいるとき」: +47.5pt (M)
- ・「お気に入りの服を着て出かけるとき」: +55.8pt (M)
- ・「美味しい食事を食べているとき」: +26.4pt (M)

6

-常に次のしあわせを追い求める-

「挑戦するしあわせさん」



しあわせ点数:83.6点

構成比:4.6%

幅広いシーンで高いしあわせを感じている人たち

常に周りの人や新しいモノと接触し、刺激を受けながらしあわせレベルを高めている。性格は前向き。地方の先行きは明るいと感じている。また、自身でも住む町をよりよくするために考えたり、行動しながら次の新しいしあわせに向けて挑戦している。

■意識・行動特性

[しあわせを感じるとき]

- ・「しあわせを感じる瞬間」が多い: 28項目中22項目でトップ

[意識と行動]

- ・「挑戦的」: +28.8pt (S)
- ・「周りに、日頃から良い刺激を受ける人がいる」: +29.2pt (M)

7

-しあわせは自分の基準で判断する-

「“俺”のしあわせさん」



しあわせ点数:84.2点

構成比:15.4%

既存の選択肢にとらわれない、自分ならではのしあわせのカタチを持っている人たち

しあわせ実感がとても高い。今以上にしあわせに暮らすために足りていないものはないと感じている。そもそも自分のしあわせを周りと比べることもない。他人が決めた既存のしあわせに乗るよりは、自分の独自の判断基準で生活の在り方、しあわせのカタチを模索している。

■意識・行動特性

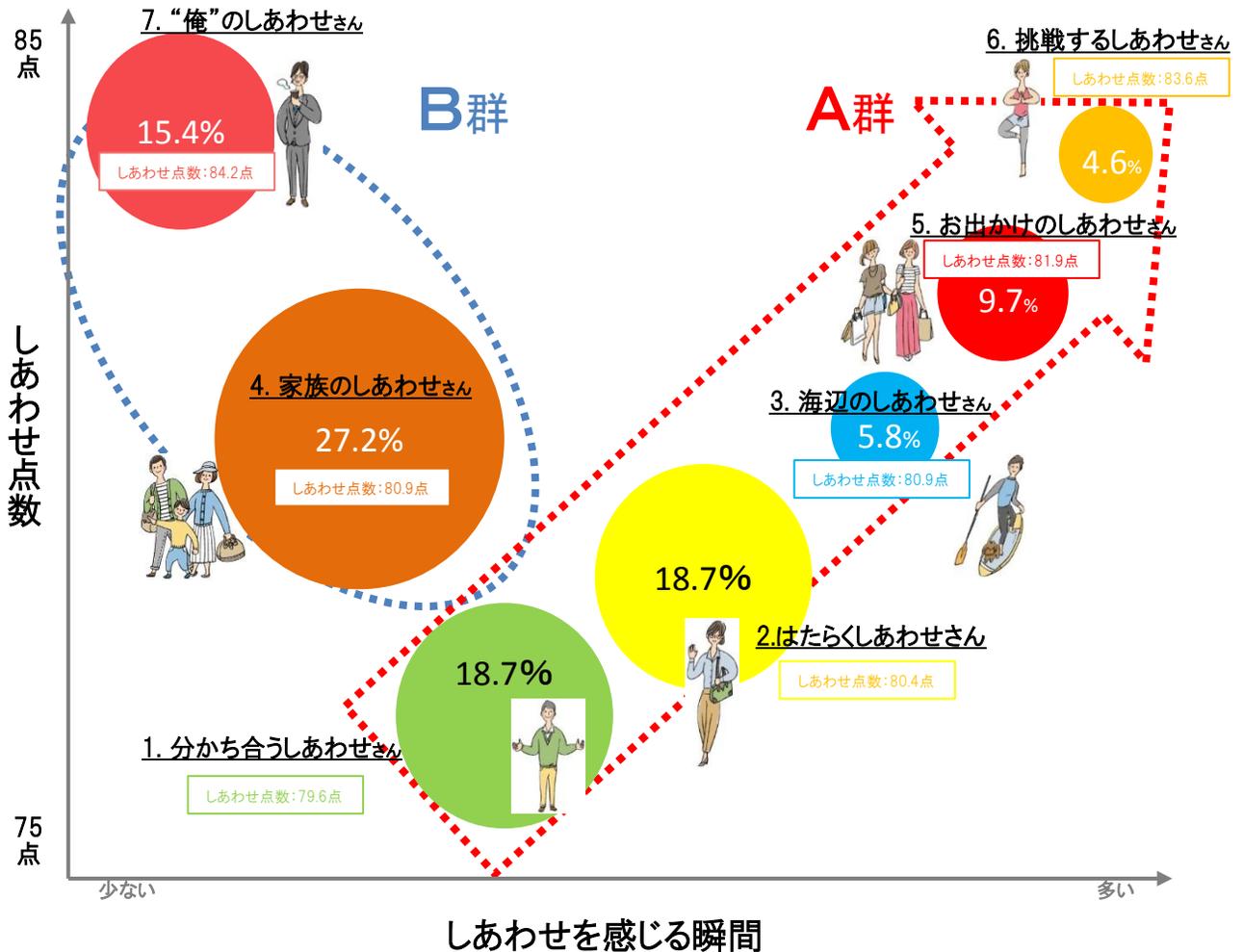
[しあわせを感じるとき]

- ・(調査項目で自分にあてはまる)「しあわせを感じる瞬間はない」: +11.1pt (M)

[意識と行動]

- ・「しあわせに暮らすために足りていないものはない」: +19.2pt (M)
- ・「自分のしあわせ度合は、周りの人とは比べない」: +7.7pt (S)

九州の7つのしあわせタイプ



7つのしあわせタイプをマップ上にプロットすると、ある傾向が見えてきます。まずは「しあわせを感じる瞬間*4」が多ければ多いほど「しあわせ点数」が上昇していくのが分かります(A群)。しあわせとを感じる時間や機会、要素が多い人ほどしあわせの実感値が高いことは、感覚的にもわかりやすいと思います。

一方で「家族のしあわせさん」のような「しあわせを感じる瞬間」が少ないにもかかわらず、「しあわせ点数」が高めの人が多くいることも見て取れます(B群)。第一回の調査レポートで、「九州は、東京よりしあわせを感じる瞬間が少ないのに、しあわせ点数が高い」ことをお伝えしました。このB群の存在が、その要因だと思われます。

「4.家族のしあわせさん」は、3割弱と最も多いしあわせのタイプで、家族と一緒に暮らすしあわせを深く感じています。「7.“俺”のしあわせさん」は、「しあわせを感じる瞬間」が最も少ないのに、「しあわせ点数」が最も高い人たちです。このタイプは自分独自の基準を持っており、それを元に自分が納得する生活の在り方、しあわせのカタチを見出していると推測されます。

*4 質問「あなたが「しあわせ」を感じるのはどういう時ですか」に対する29項目の回答項目数

九州の7つのしあわせタイプ

今回、7タイプのしあわせな人たちが九州にいることがわかりました。

これらのしあわせをより大きくしていくためには、タイプごとに異なったアプローチが求められます。この7タイプをベースに、九州しあわせ共創ラボは、色々なカタチのしあわせにつながる活動に取り組んでいきます。

たとえば、「家族のしあわせさん」に向けた「九州の休日を家族でもっと楽しむため旅行プラン」を共創する。

たとえば、「挑戦するしあわせさん」「分かち合うしあわせさん」と一緒に、「よりよい地域をつくるためのプロジェクト」を始める。

たとえば、プレミアムフライデー実施に向けて、「俺」のしあわせさんが喜ぶ「極上の金曜日の過ごし方」を共創する、など。

これから、7つのしあわせという視点で、地域の生活者、企業、メディアや有識者とともに、九州の“新しいしあわせのカタチ”を実現していく共創活動を本格的に進めていきたいと思えます。

「家族のしあわせさん」のために

Qラボはオーセンティックジャパンの子供の迷子防止サービス「ココキッズ」の共創活動を開始

Qラボは、福岡市のベンチャー企業オーセンティックジャパンと子供の迷子防止用の機器レンタルサービス「ココキッズ」の事業（レンタル事業開発、事業管理、ネーミング、パッケージ、コミュニケーション開発）についての共創活動を2016年12月より開始しました。

ココキッズは、家族（子供）のしあわせを願う親御さんやおじいちゃん、おばあちゃんに「安心」をお届けします。

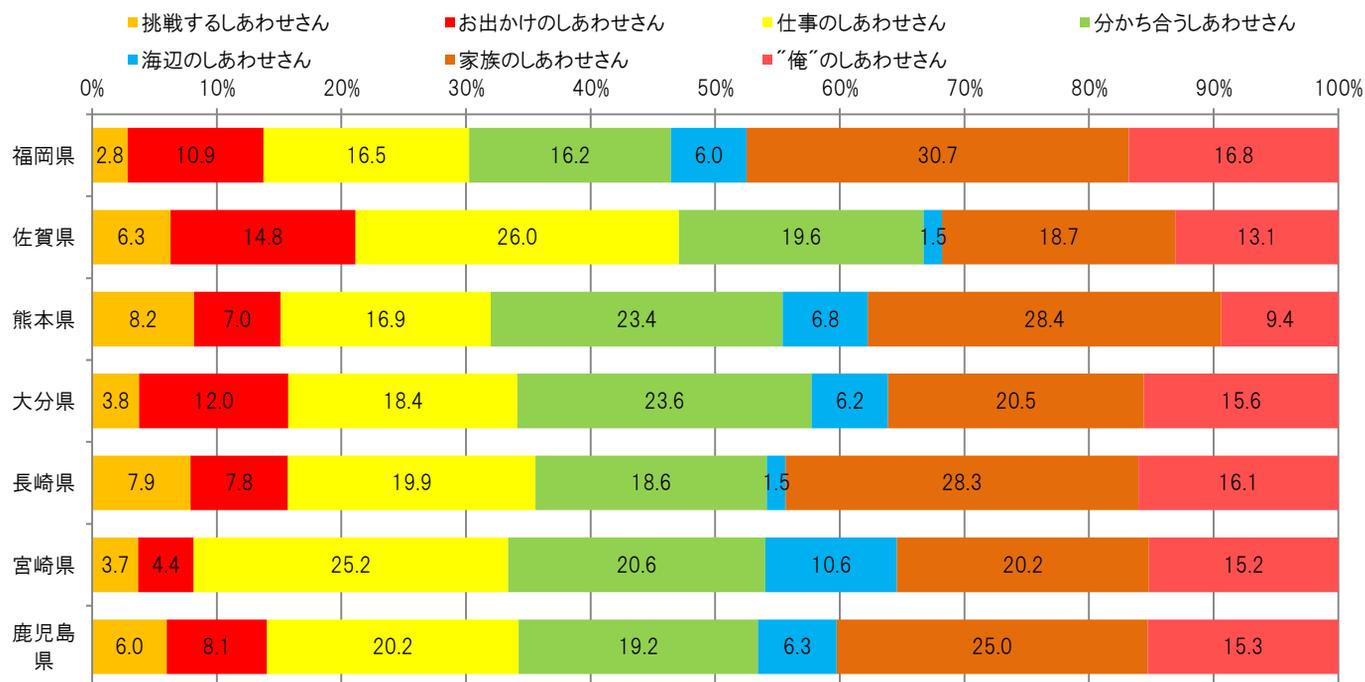


Qラボ調査レポート 調査概要

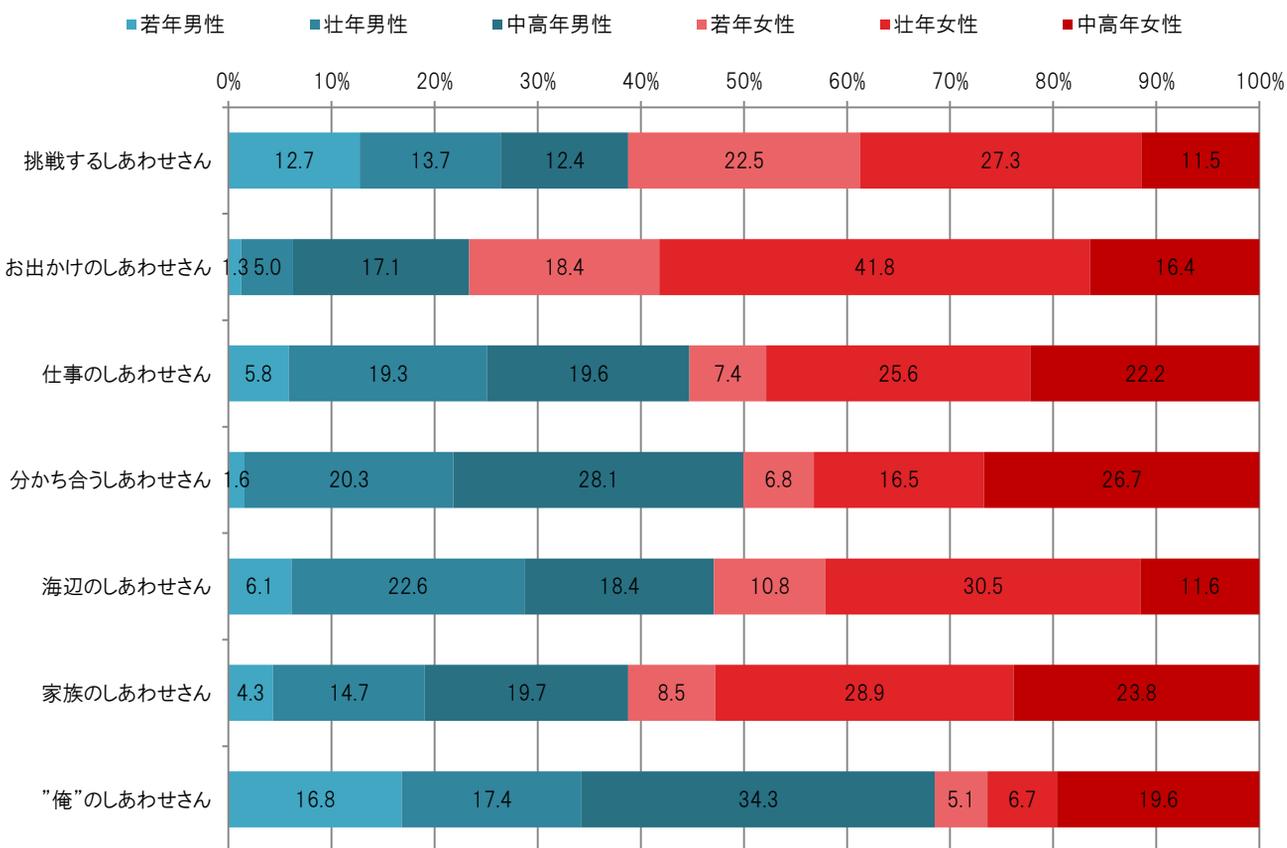
| | |
|--------|-------------------|
| 調査手法: | インターネット調査 |
| 調査地域: | 九州7県と東京都 |
| 調査対象者: | 18から69歳の男女、一般生活者 |
| サンプル数: | 2,000サンプル |
| 調査時期: | 2016年7月29日 ~ 8月3日 |
| 調査機関: | 楽天リサーチ株式会社 |

参考資料

■ 県別に見たしあわせ7タイプの出現



■ しあわせ7タイプの年齢構成



若年:18歳から34歳、 壮年:35歳から49歳、 中高年:50歳から69歳

■しあわせ7タイプの家族形態



■しあわせ7タイプの世帯年収

